



イベント 終了しました

【満員御礼受付終了】平家物語、その滅びの美学 第3回 「平家物語の男たち」

キーワード	日比谷カレッジ
内容	平家物語に描かれる、数多くの男たちの、その個性、その魅力などを巡って、あらためて考えてみたい。今回は、小説『清盛と西行』などの作品で、この世界について独自の光を当てる、作家の嵐山光三郎氏を招いて、縦横無尽、自由自在というつもりで、言いたい放題丁々発止の談義を戦わせようかと思っている。
日にち	2016年11月28日（月） 18:30から20:30
日にち説明	18:00開場
場所	地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
発信者	千代田区立日比谷図書文化館
定員	200名（事前申込順）
参加費用	500円（千代田区民・学生無料）

講師・出演者	林望/嵐山光三郎
プロフィール	<p>■林 望（はやしのぞむ） 1949年東京生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程満期退学。ケンブリッジ大学客員教授、東京藝術大学助教授を経て作家活動に専念。専門は日本書誌学、国文学。『イギリスはおいしい』で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。著作に『すらすら読める風姿花伝』、『リンボウ先生のうふふ枕草子』など古典に関するものも多数。『謹訳 源氏物語』全十巻で2013年に毎日出版文化賞特別賞受賞。2015年5月、『謹訳 平家物語』第一巻を刊行。</p> <p>■嵐山 光三郎（あらしやま こうざぶろう） 1942年生まれ。平凡社「太陽」編集長を経て独立、執筆活動に専念する。1988年『素人庖丁記』により講談社エッセイ賞受賞。2000年『芭蕉の誘惑』によりJTB紀行文学大賞受賞。2006『悪党芭蕉』（新潮社）で第34回泉鏡花文学賞、2007年第58回読売文学賞を受賞。著書に『芭蕉紀行』『文人悪食』（以上、新潮文庫）、『追悼の達人』『西行と清盛』（以上、中公文庫）、『現代語訳、徒然草』（岩波現代文庫）、『漂流怪人・きだみのる』（小学館）等。</p>

主催	公益財団法人上廣倫理財団
共催	千代田区立日比谷図書文化館

問い合わせ先	千代田区立日比谷図書文化館（03-3502-3340）
申込期間	2016年09月25日 10:00 から2016年11月28日 18:30
申込方法	電話（03-3502-3340）、Eメール（college@hibiyal.jp）、来館（1階受付）いずれかにて、①講座名(または講演会名)、②お名前（よみがな）、③電話番号をご連絡ください。

カレンダー表示 <input type="checkbox"/> イベント開催日 <input type="checkbox"/> 休館日	2016年 11月						
	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			

発信日

2016.09.25

 印刷

 リストに追加

[ツイート](#)